

竜総審第 9 号
令和3年2月17日

竜王町長 西 田 秀 治 様

竜王町総合計画審議会

会長 西 村 三代司



第六次竜王町総合計画基本構想（案）について（答申）

令和元年12月18日付け竜創政第736号で諮問のありました第六次竜王町総合計画の策定について、当審議会で慎重に議論を重ね、別添のとおりとりまとめましたので答申します。

当審議会としては、『若者も暮らしたい 希望かなえる 輝竜の郷 ～ 心弾む 新時代へのチャレンジ ～』を将来の姿とする構想案を適切と認め、ここに答申します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により審議会を開催できない状況が続いた中ですが、短期集中により議論を重ね、竜王町の現状・課題を踏まえ、将来のあるべき姿やこれからのまちづくりについて深く検討することができました。

本構想案は、竜王町が直面する大きな課題である「人口の維持」、「地域コミュニティの維持・活性化」、「にぎわいの創出」などの実現を図るために不可欠な存在である「若者」に着目するとともに、ポストコロナ社会、脱炭素社会など、これからの時代に求められる社会や、Society5.0によるあらゆる分野におけるデジタル化など先端技術を身近に活用できる社会を想定しながら、「新時代へチャレンジ」していく姿勢を示しています。この構想案に基づくまちづくりが、まちの魅力を高めることにつながることを期待します。

また、この構想案は、当審議会による検討・審議のみならず、町民意識調査や中学生を対象としたアンケート、パブリックコメントなど、幅広く町民の声を取り入れました。

なお、計画の推進にあたっては、下記の事項および審議の過程で提起された各委員の意見についても十分に配慮されることを望みます。

記

- 1 各施策に「若者」の視点を反映することで、「若者」が住みたいと思える環境の創出を図るとともに、そのことが子どもや高齢者の住み心地のよさにもつながるよう取り組むこと。
- 2 町民に対しまちづくりの方向性を分かりやすく親しみやすい方法で広く周知し、理解と参画が得られるよう工夫するとともに、町外からの移住者、来訪者に対しても子育て、教育、産業、歴史・文化など多様なまちの魅力や、まちづくりに関する情報発信を充実すること。
- 3 計画の進行管理にあたっては、財政見通しを含む実施計画を策定するとともに、分かりやすい成果指標を設定し、毎年度評価・検証を行いながら、適宜、内容の見直しを図るなど、PDCA サイクルを確立すること。
- 4 今後の社会経済情勢の変化に合わせて、時代に即したまちづくりを行うことができるよう柔軟な対応を実施するとともに、町民、企業をはじめとする多様な主体が協働し、「オール竜王」で着実に計画を推進できる仕組みづくりを行うこと。